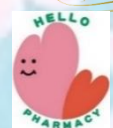




R2年

ハロー薬局だより



ハロー薬局 ～営業時間～			
<長利店>	月・火・水・金 木・土	<尾張店>	月・火・水・金 木 土
午前8:30～午後7:00	午前8:30～午後1:00	午前8:30～午後7:00	午前8:30～午後4:30 午前8:30～午後1:00

今月のテーマ:レジ袋有料化について

2020年7月からレジ袋有料化がスタートします。

プラスチックは非常に便利な素材です。成形しやすく、軽くて密閉性も高いため、製品の軽量化や食品ロスの削減など、あらゆる分野で私たちの生活に貢献しています。

一方、廃棄物、資源制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化などの問題もあります。

私達は、プラスチックの過剰な使用を抑制し、賢く利用していく必要があります。

このような状況を踏まえ、令和2年7月1日より、全国でプラスチック製買物袋の有料化を行うことになりました。

これは、普段何気なくもらっているレジ袋を有料化することで、それが本当に必要かを考えていただき、私たちのライフスタイルを見直すきっかけになることを目的としています。

☆レジ袋有料化のメリット☆

①海洋汚染を防ぐことができる

関西広域連合の調査によると、大阪湾全体でレジ袋およそ300万枚、ビニール片約610万枚が沈んでいると報告されました。よって、その流出量を減らすことができれば、海洋汚染防止への効果も期待できます。

②地球温暖化の抑制が期待できる

レジ袋をはじめとするプラスチックごみの多くが、焼却処理されています。レジ袋の有料化によってその流出量が減れば、焼却の際に発生する二酸化炭素(CO₂)が削減され地球温暖化抑制が期待できます。

③石油の消費を抑えることが期待できる

限りある資源である石油は、プラスチック原材料です。レジ袋有料化による流出量の減少は、石油の消費抑制につながると期待されています。

④ごみ処理のコスト削減が期待できる

日本では年間およそ900万トンのプラスチックごみが出ており、その40%以上がレジ袋をはじめとする「使い捨てプラスチック」です。環境省の素案では「2030年までに使い捨てプラスチックの排出量を25%減らす」としていますが、実現すれば莫大な量のごみ削減となり、運搬から焼却までの様々なコストの削減が期待されます。

